

第6学年国語科 学習指導案

2014年11月6日(木) 2校時
6年2組(男子11名 女子11名 計22名) 本時7/10
授業者 松岡 舞

- 1 **単元名** ～持続可能な社会へ向けて～ 6年2組環境サミットを開こう
教材名 「未来へ生かす自然のエネルギー」 (東京書籍6年下)

2 単元の目標

- 新エネルギー問題に関心をもち、必要な情報を得るために進んで複数の資料で調べ、自分の考えが説得力をもって伝わるように発表することができる。
(関心・意欲・態度)
- 資料の示し方や具体例の挙げ方に注意しながら要旨をとらえ、環境問題についての自分の考えを明確にしながら読むことができる。
(C 読むこと (ウ))
- 自分の課題を解決するのにふさわしい資料を選んで読むことができる。
(C 読むこと (カ))
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。
(言 イ (キ))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第5学年及び第6学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」と「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

その際、「C 読むこと」の言語活動例「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。」を具体化した「自分の興味・関心がある再生可能エネルギーへの転換による持続可能な社会について、自分の課題を解決するために調べたことを、筆者の論点を参考にして環境サミットで発表し合う。」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる環境サミットは、教材文で学習した筆者の論点を参考にしてグループでまとめた再生可能エネルギーについて、説得力ナンバー1をめざしてプレゼンテーションをするというものである。このことにより、本単元でねらう「筆者の意図を考えながら文章の内容を的確に押さえ、環境問題についての自分の考えを明確にしながら読む力」「自分の課題を解決するのにふさわしい資料を比べて読み、必要な情報を選ぶ力」の育成に確実につながる言語活動にする。

本教材は、エネルギー問題の現状から始まり、エネルギー問題への具体的な取り組み、課題、そしてその課題や解決策を挙げ、筆者自身の感想や考えが図表や写真などの資料を使うことによって筆者の意見が強調され、読み手に説得力を与えている説明文である。児童は図表や具体例を文章と関連付けて用いることを学ぶことによって、自分が伝えたいことを図表や資料を効果的に使うことによって、説得力のある表現をもって伝えられるようになると思う。

(2) 児童観

児童は、6年5月単元「イースター島にはなぜ森林がないのか」で筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えをまとめる学習をした。文章に書かれていることを読み取ることはできるが、それに対して自分の考えをまとめたり相手に伝えたりするところには弱さが見られる。また、

今年度の全国学力調査の結果の分析からは、国語科のB問題について、目的や必要に応じて必要な内容を引用したり、関連付けたりして書くことに対しても弱さが見られた。地球温暖化やエネルギー問題など、児童が興味をもっている環境問題は様々であるが、今回は、教材文の筆者の論点を明確にしてそれを参考にしながら自分の興味・関心がある再生可能エネルギー（新エネルギー）に焦点をしばってまとめることに重点をおき、自分の考えをもたせて交流させたい。同じエネルギーを選んでいる児童でグループ分けをすることで共通理解が図れ、調べたことを根拠として出すことで、説得力をもたせて発表に臨ませるようにする。

読書については、読書量に個人差があり、興味をもって読んでいるのは物語や伝記がほとんどである。また、これまでの授業では、調べ学習等で図書室を利用して関連図書を探す経験が少なかつた。そこで、図書室やパソコン室を利用して、自分の課題を解決するために必要な本を探し、情報を収集する活動をさせたいと考えた。

(3) 指導観

本単元では、まず第0次として興味のある新エネルギー問題についてアンケートをとる。この時、どうして興味があるのか理由もはっきりと書かせておくことで興味付けをし、学習への意欲をもたせる。そして第一次の学習に入りたいと考えている。

第一次では、事前アンケートをもとにして、今自分が興味のある新エネルギー問題について話し合い、教師によるポスターを使ったプレゼンテーションのモデルを見せることで学習に対して興味をもてるようにする。そして、自分が興味をもった新エネルギー問題について調べたことを、環境サミットで発表し合うという学習のめあてをもたせる。

第二次では、教材文について文章全体の構成を大まかにつかみ、本論について筆者の論点を整理し、要旨をまとめさせる。論点を整理する際、現状→具体的な取り組み→課題→解決策→自分の感想や考えといった述べ方になっていることを明確にさせ、具体例の示し方の工夫も考えさせたい。さらに、エネルギー消費の移り変わりなどを円グラフや折れ線グラフなどと関連させて説明していることや、図表や数値の効果にも着目させ効果的に使うこともできるようにさせたい。教材文での学習を進めながら、並行読書でも自分の課題に応じた資料や情報を見つけて調べ、第三次とのつながりを意識できるようにする。

第三次では、本単元で学習した資料の示し方や具体例の挙げ方を生かしながらポスターなどにまとめさせる。そして、ポスターの中の図表や資料を用いて持続可能な社会へ向けて、自分の感想や考えを明確にしながら発表しあえるようにする。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して活動したり、学んでいくことに意欲をもち、見通しをもって言語活動を展開したりする必要がある。そこで、導入ではポスターを使ったプレゼンテーションのモデルを見せ、環境サミットを開くことへの意欲や課題意識を高める。第二次では、教材文での学習を進めながら並行読書することで、自分の課題に必要な資料を意欲的に収集していくと考えられる。さらに、環境サミットで説得力ナンバー1のプレゼンテーションになるように話し合いをする中で、主体的な児童の姿が期待できる。

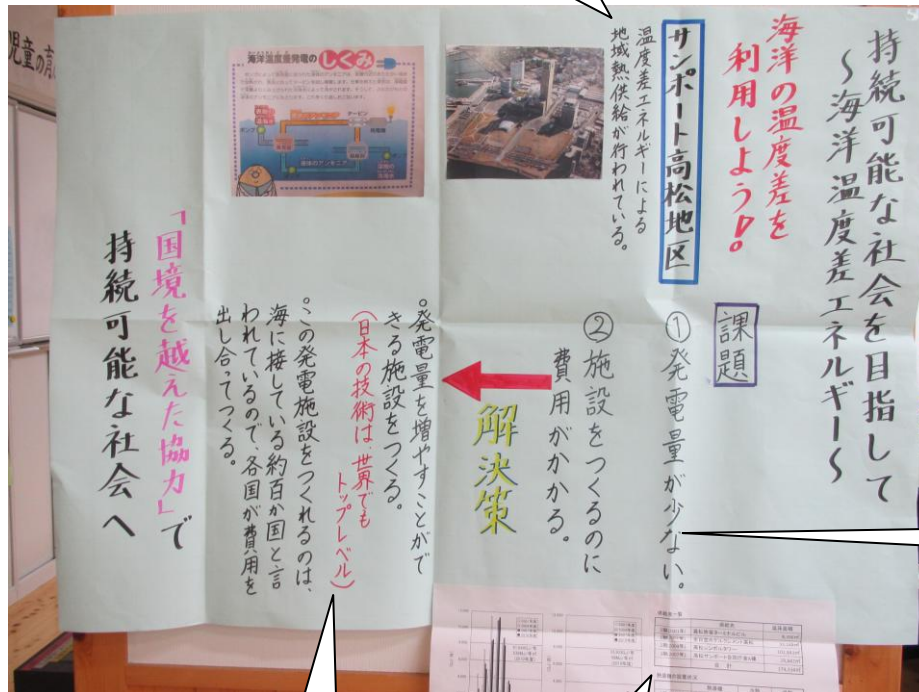
4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・新エネルギー問題に関心をもち、必要な情報を得るために進んで複数の資料で調べ、自分の考えが説得力をもって伝わるように発表しようとしている。
読む能力	・資料の示し方や具体例の挙げ方に注意しながら要旨をとらえ、環境問題についての自分の考えを明確にしながら読んでいる。C（ウ） ・自分の課題を解決するのにふさわしい資料を選んで読んでいる。C（カ）
言語についての知識・理解・技能	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。イ（キ）

<言語活動のモデル『～持続可能な社会へ向けて～ 6年2組環境サミットを開こう』>

【ポスター】

具体的な取り組み



課題

解決策

グラフ・表

※第二次で学習した文章全体の構成を把握したり、筆者の論点を整理したりしたことを第三次の発表に活用する。持続可能な社会を意識させることと具体的な解決策を必ず入れさせる。

※環境サミットでは、自分の考えを明確にしながら聞き手を納得させるための資料を用いたり、論点が第二次で学んだことを生かしているかどうかを見たりするので、プレゼンテーション→質問や感想といった形式をとる。

5 単元構想図

単元を貫く言語活動

自分の興味・関心がある再生可能エネルギー（新エネルギー）への転換による持続可能な社会について、自分の課題を解決するために調べたことを、筆者の論点を参考にして環境サミットで発表し合う。

◇学習の流れ

並行読書

第一次

- 持続可能な社会へ向けての新エネルギーについて自分が調べて発表したいことを考える。
- 教師のモデルを聞き、自分の興味のある新エネルギーについて話し合うための学習の見通しを持つ。

第二次

- 筆者の問題の取り上げ方について知り、説明文全体を大まかにつかむ。
- 読み手を納得させる工夫を見つける。（筆者の論点、資料の示し方など）
- 筆者の論点を整理し、本論1の要旨をまとめる。
- 筆者の論点を整理し、本論2の要旨をまとめる。

第三次

- これまで集めた情報の中から自分たちのプレゼンテーションに必要な資料や図表を選び、論点をしぼる。
- 環境サミットに向けて準備をする。
- 自分たちの論点をはっきりさせ、プレゼンテーションを行う。
- プレゼンテーションをもとに、改善点や聞き手を説得するための更なる工夫をグループで話し合い、サミットに向けて準備を整える。
- 6年2組環境サミットを開く。

◇意識の流れ

【児童の実態】

目的や必要に応じて、必要な内容を引用したり関連付けたりして読む力が弱い。

- ・新エネルギーによる持続可能な社会へ向けて話し合うことがめあてなんだ。
- ・筆者の論点を参考にするんだね。
- ・この新エネルギーについて調べてみよう。

- ・文章は序論、本論、結論の三つだね。
- ・本論は二つに分かれるよ。
- ・本論の要旨をまとめてみよう。
- ・筆者の言いたいことはこんなことかな。
- ・図表やグラフを使うとこんなに効果的なんだね。

- ・プレゼンテーションにはこの資料が必要だね。
- ・この図表や資料を使うと効果的だよ。そのわけは…。
- ・筆者の論点をはっきりさせて、自分たちの課題を伝えよう。
- ・こんなところが足りないから、付け足すともっと納得させることができるよ。
- ・私たちの「説得力ナンバー1」の再生可能エネルギーについて伝えたいな。

単元で付けたい力

- ・筆者の意図を考えながら文章の内容を的確に押さえ、環境問題についての自分の考えを明確にしながら読む力。
- ・自分の課題を解決するのにふさわしい資料を比べて読み、必要な情報を選ぶ力。

6 指導計画及び評価計画（全10時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<p>これからの学習のめあてを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーについてのアンケート結果について話し合う。 ・「～持続可能な社会へ向けて～ 6年2組環境サミットを開こう」という学習のめあてをもつ。 ・学習の流れを知る。 ・教材文の範読を聞く。 	<p>【関】めあてを知り、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>（発言・行動観察・ノート）</p>
	2	<p>筆者が伝えたいことを短くまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本論を音読する。 ・教材文の4つの構成に小見出しを付ける。 ・並行読書をする。 	<p>【言】文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。</p> <p>（発言、教材文、ノート）</p>
第二次	3 ・ 4	<p>本論1で筆者が読み手を納得させる工夫を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本論1がいくつかのまとまりに分かれるのか確認し、小見出しを付ける。 ・本論1で納得した筆者の書き方や資料の使い方を出し合い、それはなぜか根拠もはっきりさせて交流し合う。 ・本論1で筆者が自分たちに伝えたいことをノートにまとめる。 ・並行読書をする。 	<p>【読】資料の示し方や、具体例の挙げ方などを考えながら筆者の論点を整理し、本論1の要旨をまとめている。</p> <p>（発言・ノート）</p>
	5	<p>本論2で筆者が読み手を納得させる工夫を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本論2がいくつかのまとまりに分かれるのか確認し、小見出しを付ける。 ・本論2で納得した筆者の書き方や資料の使い方を出し合い、それはなぜか根拠もはっきりさせて交流し合う。 ・本論2で筆者が自分たちに伝えたいことをノートにまとめる。 ・並行読書をする。 	<p>【読】資料の示し方や、具体例の挙げ方などを考えながら筆者の論点を整理し、本論2の要旨をまとめている。</p> <p>（発言・ノート）</p>
	6	<p>自分の課題に必要な図表や資料を選ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット等から複数の資料や情報を集める。 ・資料や情報の中から、自分の課題に必要な事柄や図表を選ぶ。 	<p>【読】自分の課題を解決するのにふさわしい資料を選び、環境問題についての自分の考えを明確にしながら読んでいく。</p> <p>（資料のコピー・付箋）</p>

第三次	7 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">サミットに必要な情報を持ち寄り、グループの柱を立てよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の筆者の論点を参考に柱を立てる。 ・個人で調べてきた事柄や図表について、自分たちの柱に必要なものと今回は必要でないものに分ける。 	<p>【読】教材文の筆者の論点を参考に柱を立て、根拠をもとに関連する資料を選び、整理している。 (ワークシート・資料のコピー・付箋・行動観察)</p>
	8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">自分たちの発表に見通しをもち、伝えたいことをまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な資料の示し方や具体例の挙げ方を意識し、ポスターにまとめる。 ・発表原稿を作る。 	<p>【読】環境サミットに向けて、資料の示し方や具体例の挙げ方に注意しながら要旨をとらえ、論点を明確にしてまとめている。 (ポスター・発表原稿・行動観察)</p>
	9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">サミットに向けて準備を整えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでプレゼンテーションの準備をする。 ・グループ同士で見合い、感想を交流する。 ・改善点を補充し、練習をする。 	<p>【読】自分たちのグループの論点を明確にし、改善点を確認しながら練習している。 (プレゼンテーションの練習・行動観察・付箋への書き込み)</p>
	10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">説得力ナンバー1をめざして、6年2組環境サミットを開こう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・良かったところ、疑問点を簡単に書きながら聴く。 ・感想を交流する。 	<p>【関】自分の考えが説得力をもって伝わるように発表しようとしている。 (ポスター・行動観察・ノート)</p>

7 学習の展開

第三次 2時間目 (7/10)

- (1) 目標 これまで集めた情報の中から、自分たちのプレゼンテーションに必要な資料を選び、論点をしぼることができる。
- (2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元の言語活動を確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> サミットに必要な情報を持ちより、グループの柱を立てよう。 </div>	<p>○ゴールイメージをもたせることで、目的意識をもたせる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 教材文の筆者の論点を参考に柱を立てる。 現状→具体的な取り組み→課題→解決策</p> <p>(2) これまでに調べてきた事柄や図表について、自分たちの柱に必要なものと今回は必要ではないものに分ける。</p> <p>4 今日の進捗状況を確認し合う。</p>	<p>○論点を明確にさせる。</p> <p>○誰がどこの部分を担当するのか分担させる。</p> <p>○自分たちの発表にどの資料を使いたいか、それはなぜなのか根拠と論点をからめてグループの友だちに話させる。</p> <p>※前時に選んだ資料や付箋に書いていることをもとに話すよう助言する。</p> <p>○収集した資料から必要な情報をワークシートに整理させ、使用したい図表には付箋を貼らせる。</p> <p>☆教材文の筆者の論点を参考に柱を立て、根拠をもとに関連する資料を選び、整理している。</p> <p>【読】(ワークシート・資料のコピー・付箋・行動観察)</p> <p>○国語日記に自己評価やグループでの学習について自分の意見を書かせ、発表させる。</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>家庭学習 今日選んだ資料をもとに、自分が担当する部分の発表原稿の下書きをしてくる。</p> </div>	<p>○次時は、これまでの話し合いを生かしてポスターを書くことを知らせる。</p>

(3) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆教材文の筆者の論点を参考に柱を立て、根拠をもとに関連する資料を選び、整理している。

海洋温度差発電とは、水温差が大きい深海と海面のあいだでアンモニアなどを循環させ、海水温の上昇とともに発生するアンモニア水の蒸気を利用してタービンを回し、発電するものです。

参考資料 エネルギー問題にたちむかう P. 14

A 十分満足できる状況

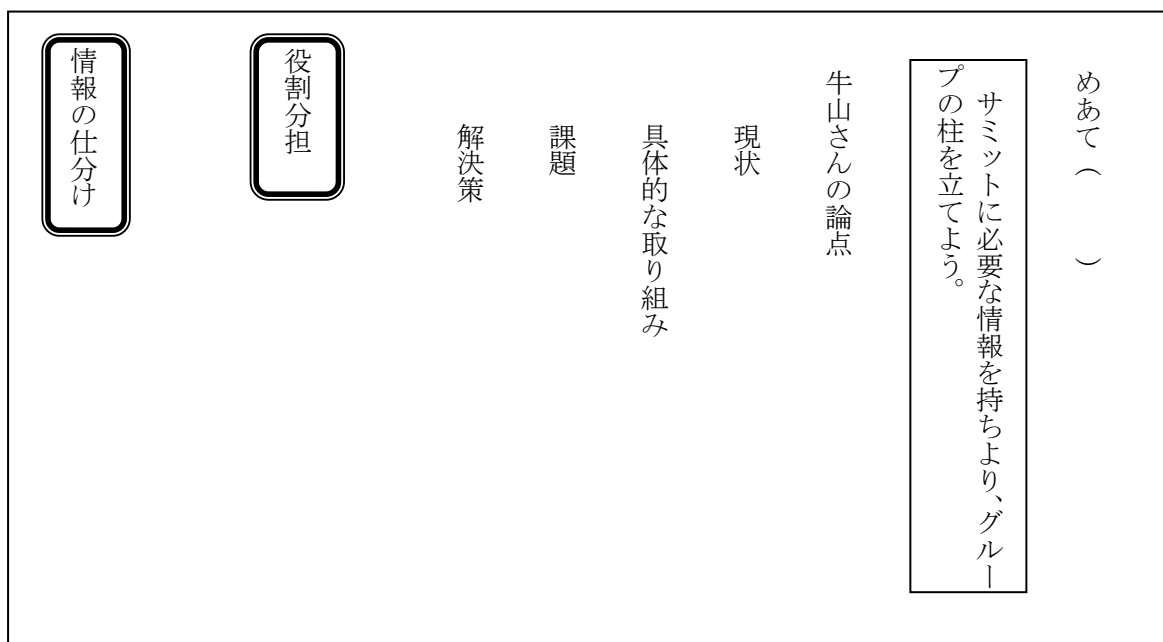
◆教材文の筆者の論点を参考に柱を立て、根拠をもとに複数の資料から必要な情報を選び、整理している。

海水には深さによって温度差があります。これを利用して電気をつくるしくみが「海洋温度差発電」です。代表的な方法は、あたたかい海水でアンモニアなどの液体をあたためるものです。海水はつねに温度差があるので、年間を通じて安定した電力をつくれます。また二酸化炭素や廃棄物を出さず、地球環境に影響をあたえません。

私たちの住んでいる四国では、サンポート高松地区において温度差エネルギーによる地域熱供給が行われています。

参考資料 再生可能エネルギーの大研究P. 51
バイオマス・温度差発電ほかP. 27
よくわかる再生可能エネルギーP. 77
四電エネルギー学習支援サイト <http://www.yonden.co.jp>

(4) 板書計画



(5) 準備物

これまでに収集したもの、ワークシート